

29 ハルマンスナモグリ

(スナモグリ科)

兵庫県ランク:B

Callianassa harmandi

環境省ランク:指定なし

種の概要

北海道から九州に分布する。スナモグリよりも外洋的な環境を好む。体長50mm。形態はニホンスナモグリ(その他無脊椎動物Cランク)に酷似するが、眼柄に占める眼の幅がニホンスナモグリよりも幅広く半分以上を占めること、額角の角度が狭く、やや尖ることで識別できる。体は白くつやがあり軟弱。ハサミ脚は硬く、左右で大きさが著しく異なる。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
			○	○			○

県内分布

たつの市、洲本市

県内における生息状況及びその他特記事項

ランク変更なし。本種はニホンスナモグリと比べると、より外洋的な環境を好む。このため県内における記録は極めて限定的であり、現在までのところ播磨西部の一部及び淡路島中部でのみで記録がある。淡路島中部の大阪湾側は本種以外にも外洋性や南方系の種が多数確認されており、県内において極めて重要な環境であると言える。

保護上の留意点

細砂質の干潟や砂浜に生息することから、埋め立てなどで生息域が破壊されないよう注意が必要。また、海岸整備などで他地域からの砂の導入などが行われた場合、このような小型の動物にとっては極めて大きな攪乱となる。



【執筆者】 渡部哲也